観光振興を目的とした新税に関する地域説明会の実施結果について

１　趣　旨

観光振興を目的とした新税に関する道の考え方をまとめるにあたり、道内市町村や特別徴収を担うこととなる宿泊事業者をはじめとする関係の皆様に、新税導入の意義やメリットなどについてご理解をいただくため、これまでの検討経過や「新税の考え方（懇談会議論のまとめ)」の説明と意見交換を実施。

２　実施状況

・　実施期間：４月２２日(月)から５月３１日(金)まで
・　参加延数：６９７名
・　開催場所等：２７ヶ所

札幌市（２回開催)、千歳市、倶知安町、定山渓、小樽市、網走市、紋別市、留萌市、釧路市、阿寒湖、岩見沢市、洞爺湖町、登別市、室蘭市、稚内市、苫小牧市、浦河町、帯広市、江差町、函館市、旭川市、根室市、富良野市、北見市、斜里町、音更町
市町村向け１４回、事業者向け２８回　　計４２回

３　質疑応答・意見交換の概要

(1) 市町村の主な意見

ア　新税を導入済み、または検討を進める市町村

・　今後の導入までのスケジュールや見通しを示してほしい。(倶知安、斜里、帯広)
・　徴収に協力するという事業者のためにも、システム改修などの支援については、できるだけ早期に、具体的に提示してほしい。(倶知安)
・　今後示される道の考え方に責任を持ち、改めて市町村や事業者への説明を丁寧に行ってほしい。課題を整理し共感と信頼を得るべき。(ニセコ)

イ　新税の導入を検討していない市町村

・　今後検討を開始する市町村に対し、検討に関する助言などを教えてほしい。(網走、洞爺湖)
・　徴収開始時期について、見通しでも良いので早めに示してほしい。(稚内、今金)
・　市町村への交付金として税収を配分することも検討してほしい。(稚内、礼文)

(2) 宿泊事業者

①　新税導入の背景について

・　必要な施策のための財源確保であることは理解する。(札幌、定山渓、網走、紋別、函館、音更)
・　コロナ後にあっても業界としては回復途上であり、依然として厳しい状況が続く中、導入時期をよく考えてほしい。(札幌、網走、紋別)
・　税率が１００円であっても、税率分を宿泊料金から値下げしなければならない事態となることが明確なので反対。(登別、函館)

②　新税による施策・使途について

・　危機対応力の強化については重要と認識。風評被害対策も含め、今後、支援策を具体的に示してほしい。（洞爺湖、斜里）
・　空港のグランドハンドリングの人手不足は喫緊の課題であり、移動利便性の向上についても、大きな取組のみならず、地域の小さな課題を拾い上げることでより理解が進むと思う。（札幌、音更）
・　ガイド育成よりもまずは、宿泊業への人材の定着を支援し、老朽化が進む宿の社員寮への補助など、雇用環境の改善に取り組んでほしい。環境や賃金の向上が業界の構造変化につながる。（定山渓、阿寒）
・　人材の育成については、海外の取組などをぜひ参考にしてほしい。（十勝）
・　広大な北海道においては、地域の魅力向上が重要。還元とまでいかなくとも、振興局単位で充当できるなど、地域が実感できる形としてほしい。（函館、音更）
・　納めた税がどれだけその地域に還元されるか不安がある。（札幌、定山渓）
・　新税による使途の恩恵が地方に届くか不安がある。（小樽、網走、紋別、北見）

③　新税の枠組みについて

・　北海道は世界有数の観光地にしていくべきであり、世界から見ると５００円でも安いと感じる。稼げるようにすることは重要。（十勝）
・　修学旅行のみならず、地域が誘致に力を入れているインターハイや部活動なども課税免除として検討してほしい。また、地域が注力しているスポーツ大会・合宿への具体的な支援を検討してほしい（阿寒、苫小牧、根室、函館、斜里、旭川）
・　観光振興を目的とした財源確保に向けては、宿泊事業者以外にもさまざまな観光関連事業者も負担を負うべき。（札幌、網走、紋別、室蘭、函館）
・　工事作業など地域に必要な宿泊や長期の宿泊、観光目的以外の宿泊に対しては、免税点の設定や、より細かな税率区分を設定するなどの配慮をすべき。（網走、紋別、留萌、苫小牧、稚内、十勝、函館、北見）
・　観光地とそうではない地域とでは料金設定の考え方や客層も異なり、地方では１００円の値上げでも辛いため、全道統一的な課税方法には疑問がある。低価格の宿泊ほど負担が大きいので、担税力に応じた設定とはいえないのではないか。（網走、紋別、室蘭、函館）
・　子供の宿泊はできれば免税にしてほしい。学校教育は非課税事項だが、小学生などを免税にできないか。（留萌、洞爺湖）
・　入湯税や市町村宿泊税と併せると５００円近い負担になるということを考慮してほしい。（阿寒、函館）

④　徴収事務について

・　税の徴収にあたってはお客様への対応に不安を感じる声もあることから、新税の導入について周知にしっかり取り組んでほしい。（小樽、網走、紋別）
・　事業者側のシステム改修等に係る費用について、補助金などによる支援などの支援方法を検討・提示してほしい。（札幌、小樽、倶知安、網走、紋別、釧路、登別、函館）

・　クレジット決済による手数料を事業者が負担する点を考慮すると、特別徴収義務者交付金が３％では足りないし、税については現金払いにせざるを得ない。規模の小さい事業者ほど負担が大きいと思うので、現場の実情をヒアリングした上で、課題を明確にし、支援を検討してほしい。（札幌、小樽、網走、登別） ・　入湯税と併せて納付する方法について、市町村と一緒に検討してほしい。（洞爺湖、稚内） ・　道税の徴収事務を担うメリットが感じられない。（札幌、倶知安、網走、紋別）
⑤　新税の推進方策について
・　緊迫感、切迫感を持って、事業者と定期的に対話や意見交換を行うなど、現状を把握した上で議論を進めるべき。（定山渓、小樽、紋別）
⑥　その他
・　システム改修など事業者側の負担軽減のため、道と市町村の導入時期は合わせてほしい。（小樽、定山渓、網走） ・　いつから徴税が開始されるのかが知りたい。（阿寒、洞爺湖、室蘭、浦河）

４　今後の取組

・　地域説明会でお寄せいただいたご意見などを踏まえ、できるだけ早期に道の考え方をとりまとめる。

・　導入を検討する市町村と、制度の詳細などについて調整を行うとともに、関係事業者等との意見交換を引き続き実施する。

・　市長会や町村会とも連携を図りながら、市町村に対し検討状況についての説明や意見交換を行う機会を設ける。